

ユニチカの
SL事業継承

瑞光



社長CEO

梅林 豊志 氏

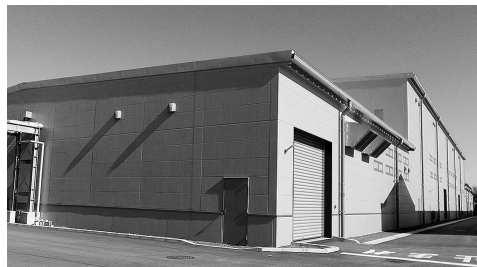
再建ではなく事業拡大

衛生材料の製造設備メーカーである瑞光がユニチカのспанレース不織布（SL）事業を承継する。異業種の瑞光が収益低迷するSLをどう生まれ変わらせるのか。梅林豊志社長CEOに事業譲受の背景と今後の戦略について話を聞いた。

――9月12日に、ユニチカとSL事業譲受の正式契約を結びました。改めて譲受に至った経緯を教えてください。

当社は紙おむつや生理用ナプキンなど衛生材料の製造設備が主力です。材料であるспанボンド不織布（SB）やSLには元々関心を持っていました。衛生材料でも昨今は世界的に環境素材を重視する傾向が強まる中で、製造設備だけでなく、材料から手掛けることができればビジネスの幅が広がると考えました。同業者ではありませんし、既存事業とシナジーを発現できると判断し、事業譲受することを決めました。

今回のユニチカのSL事業のほかにも、24年2月にCOTEX（岡山県倉敷市）を設立し、ティメックス（同）からコットン製品の製造部門を買収し、医療用や化粧雑貨に使用する後晒しの脱脂綿も手掛けています。今年8月には防護服を原材料から製品まで一貫で自動生産できる設備を開発し、韓国企業に販売することにも



ユニチカから承継する垂井工場（岐阜県垂井町）のспанレース不織布最新工場

――事業譲受契約は8月上旬を予定されていた。遅れた理由は何か。

垂井工場はユニチカグループの工場もあり、各種調整に少し時間が掛かりましたが、良い形で着地できたと考えています。

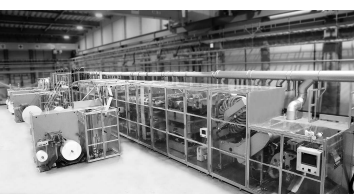
製品を見通し商品開発

――綿100%を中心とするユニチカのSLは収益が悪化していたとされています。どのように立て直しますか。

仕入れ先や外注先、製造コストなどを見直します。数億円の設備投資も行う予定です。内部にいると分かりにくい部分があります。当社のような外部から見ると、おかしなところやコストを抑えることは可能です。

一例を挙げると、調達する綿花は輸送や保存のために圧縮され、工場では解きほぐし、混打綿機にかけますが、これで良いのかどうかを考えます。巻き形状もその一つです。

コンタミ（夾雑物）の除去がポイントで、生産性にも影響しますが、どう改善しますか。



瑞光は紙おむつ・生理用ナプキンなど製造設備の最大手企業

――事業譲受後は、ユニチカのSL輸出は商社頼りだったようですが、当社では中国、ブラジル、インドネシア、トルコ、インドに販売・サービス拠点を置いて海外展開しています。コストを下げることで、衛生材料設備の納入先からSLを供給できるかとの問い合わせもあります。

――垂井工場は昨年3号機を新設したばかりです。

――子会社で被覆保護

――3号機は現状フル生産に近い状態と聞いています。老朽化する2号機は休止し、1、3号機でフル生産体制として、最終的には倍増の規模にしたいと考えています。

――事業拡大するための策は何ですか。

衛生材料製造設備の販売は欧米企業や中国企業が多いのですが、これらの企業にSLを輸出できる可能性が高いとみています。肌に優しい綿など天然繊維を使用する傾向は世界的に強まっています。すでに欧州ではパンティライナーに綿100%SLを使っていますし、中国の紙おむつではフラップパルプを使用せず、綿100%SLを使用しています。

――当初はCOTEX

――昨今は日本のSLメーカーの撤退が相次いでいます。

――SLメーカーは原反販売のみですが、当社であれば一貫通貫で製品まで視野に入れた開発が可能です。もちろん、現貨の商品顧客は大切にしますが、新商品が生まれる可能性は高く、既に研究開発を進めているものがあります。これらを輸出に結び付けていきます。

株式会社瑞光	
本社所在地	大阪府茨木市彩都はなだ二丁目1番2号
設立	1963年4月3日
資本金	18億8,851万円(東証プライム市場)
従業員数（2025年2月20日現在）	300人(連結対象会社合計597人)

ユニチカから譲受するспанレース不織布事業	
売上高（2025年3月期）	約40億円
譲受価格	22億円
従業員数(垂井工場以外も含む)	約50人

このたび、ZUIKOは
спанレース不織布事業に
Challengeします。

ZUIKOは長年にわたり、衛生用品製造機械メーカーとして、国内だけではなく、グローバルに事業を展開してきました。培ってきた技術と発想を活かし、спанレース不織布事業の新しい時代を切り開きます。

Make the Impossible Possible

株式会社瑞光（東証プライム市場／証券コード 6279）
本社住所：大阪府茨木市彩都はなだ2丁目1番2号
TEL：072-648-2215 FAX：072-648-2601
MAIL：ir-contactus@zuiko.co.jp
WEB：www.zuiko.co.jp

